

ボランティアのたまご No.71

平成23年 9月20日発行 編集・発行／四日市市社会福祉協議会ボランティアセンター

被災地での応援企画

「4日市in大槌町」～四日市の名物・特産品で人と人、心と心をつなげたい～

3月11日の東日本大震災にともない、四日市市社会福祉協議会では、被災地での応援企画として岩手県大槌町の仮設住宅に職員・ボランティア・実習生の計18名で「4日市in大槌町」を開催しました。

イベントを開催した仮設住宅では、町内各地から集まった子どもから高齢者までの約150人が、新たな生活を始めています。今回のイベントを通して、人と人とのつながりづくりのきっかけにさせていただきたいという思いで開催しました。

当日は、晴天でたくさんの人たちにご参加いただきました。



大矢知そうめん
とんてき

そうめんを受け取ったお母さんには「子どもがそうめん好きなので助かります」と喜んでお持ち帰りいただきました。

食器を梱包から出すやいなやたくさんの方が周囲を取り囲みました。仮設住宅では、家族分の食器は配布されているようですが、「お客さんに出す食器が欲しい」「お揃いの食器が欲しい」との声もあり、あっという間に食器は無くなりました。

とんてきを焼くにおいに誘われ、行列ができました。とんてきを食べながら、「四日市にはこんな名物があるんですね。おいしい」と子どもから高齢者まで喜んで食べていただきました。

かぶせ茶の試飲、お茶パックの配布をさせていただきました。お茶を飲んだ人は「このお茶おいしいね～」とご満悦。「このお茶売ってほしい」と言われる方もいらっしゃいました。

1人の子が綿菓子をつくると、「僕もやってみたい！」とたくさんのおもちゃが集まりました。自分のオリジナル綿菓子がつくれるとあって、ボランティアさんに教えてもらいながら、必死に手を動かしていました。周囲で見ている親御さんたちは「もっと早くまわさない！」とアドバイスをしたり、「うまくてできたね」と声をかけ、微笑ましく子どもたちの様子を見守っていました。



萬古焼
水沢茶



綿菓子

ボランティアさんの声

- 最初は受け入れてもらえるか不安でしたが、住人の方から気さくに声をかけてもらって反対にこちらが元気をもらいました。
- 「また来てね」と言われて嬉しかったです。住人の方と一緒にいったメンバーとも繋がることができて良かったです。
- とんてきを食べて「おいしい」と喜んでくれて、子どもや高齢者の笑顔が見れて良かったです。
- 参加することで住人の方ともたくさんお話ができて良かったです。とても勉強になりました。
- 住人の方の心のケアの必要性を感じました。次はもっと時間をかけて悩み事をお聞きしたいです。
- また、機会があれば是非参加したいです。



スタッフ一同

今回の四日市市の名物・特産品の提供には、とんてき協会をはじめ、三重の糸大矢知素麺協同組合、萬古陶磁器卸商業協同組合、水沢茶農業協同組合などたくさんの方の協力がありました。四日市市の名物・特産品をPRするとともに、四日市の人の思いを届けることで、住人の方にも喜んでいただくことができました。



短い時間でしたが、イベントを通して、住人の方同士、また、住人の方と四日市とのつながりができ、たくさんの方の笑顔を見ることができました。住人の方の笑顔や明るい姿が目立ちましたが、「子どもの遊ぶところが無い」「買い物にいけない」などの生活での困りごとや、「こんなにしてもらって、私たちに何が返せるのかなあ」「今回の震災で何もかも無くなってしまった。みんな一緒に立場だから泣いてられないよ」との声もあり、不安や辛さを抱えている一面も見られました。

今回のイベントでは、ふるまいという形で実施しましたが、住人の方からは「今度来たときは買わせて欲しい」との声もあり、現地が日常生活を取り戻しつつあると感じるとともに、住人の方の自立支援が大切になっていると感じました。

住人の方からは、「次はいつ来てくれるの？」というあたたかい声もたくさんいただきました。まだまだ被災地の復興には時間がかかります。今後も四日市市社会福祉協議会では、今回の経験を活かしながら四日市市からできる支援をみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。



東日本大震災に関するお知らせ

★四日市市から被災地支援を行っている団体への支援

現在、四日市市ではたくさんの団体が、被災地への支援活動を行っており、その支援活動をしている団体が集まり、お互いが協力しながら支援の輪を広げようと「チーム四日市」を結成し、定期的に情報交換会を実施しています。

東日本大震災にともなう被災地の復興支援は、今後も長期化することが予想されます。四日市市社会福祉協議会では、現在支援活動をしている団体が、今後も継続して活動できるようにと支援金を募る活動を始めました。集まった支援金は、四日市市から被災地までの交通費などに活用をさせていただく予定です。支援金は四日市市社会福祉協議会が責任を持って管理し、必要な団体へ助成させていただきます。支援金に関する詳しいお問い合わせは、四日市市社会福祉協議会（059-354-8144）にご連絡ください。ご協力よろしくお願いします。

なお、各支援団体の情報は、下記ブログでもご覧いただけます。

・「チーム四日市」ブログはこちら → <http://blog.goo.ne.jp/yokkaichi-vc>



この指とまれ！ ボランティア募集情報

★講演会中の託児

<てんかん医療講演会>

主催：日本てんかん協会 三重支部

日時：平成23年10月16日（日）

13:00～16:00

※12:30に現地に集合。

交通費（1,000円）は主催者が負担。

場所：四日市市総合会館 8階第3会議室

締め切り：10月7日（金）

詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。



「はじめてのボランティア説明会」のお知らせ

「ボランティアってよくわからない」という人も参加OK！一緒に自分にあった活動を見つけていきましょう！

日程：10月 4日（火）10:00～11:30

11月 2日（水）10:00～11:30

10月13日（木）19:00～20:30

11月17日（木）19:00～20:30

10月22日（土）13:30～15:00

11月26日（土）13:30～15:00

いずれも会場は四日市市総合会館2階ボランティア活動室です。参加ご希望の方は事前にボランティアセンターまでご連絡ください。

※『ボランティアのたまご』に関する問い合わせ・申し込みは、ボランティアセンターまでお願いします。
 ※『ボランティアのたまご』を掲示していただける場所や、置かせていただける場所を募集しています。
 心当たりの場所がございましたらご紹介ください。
ボランティア活動をはじめたい人、ぜひボランティアセンターまでお問い合わせください！
 四日市市社会福祉協議会ボランティアセンター 住所 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2
 TEL 059-354-8144 FAX 059-354-6486 E-mail y-vc@m3.cty-net.ne.jp

